

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-208595 (P2019-208595A)

【公開日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2018-104719 (P2018-104719)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 5 月 21 日 (2021.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な始動口と、
主遊技図柄を表示可能な主遊技図柄表示部と、
第一状態、第二状態に変更可能な設定手段と、
遊技情報を記憶可能な記憶手段と、
初期化操作手段の操作に基づき記憶手段の遊技情報を初期化可能な初期化手段と
を備え、
遊技が行われていない状況で所定時間が経過した場合に遊技待機演出を行う演出制御手
段を有し、
設定手段が第一状態であり初期化操作手段が操作された状況下で電源が投入されると、
設定値を設定可能な設定値設定状態に設定し、
設定手段が第二状態であり初期化操作手段が操作された状況下で電源が投入されると、
記憶手段の遊技情報を初期化し、
設定手段が第一状態であり初期化操作手段が操作されていない状況下で電源が投入され
ると、設定値を新たに設定できないものの、設定値を所定の表示手段に表示可能な設定表
示状態に設定し、
記憶手段には、少なくともデータを退避する際に使用される退避領域と、退避領域より
も上位のアドレスの所定領域とを含み、
所定領域と退避領域との間には遊技に使用されない領域を有し、
少なくとも、主遊技図柄の変動表示を開始するタイミングで、所定領域に記憶された設
定値を示す設定値データが正常か否かを判断し、
設定値設定状態及び設定表示状態では、前記所定時間が経過した場合においても、前記
遊技待機演出を行わないよう構成されている
 ことを特徴とするぱちんこ遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

本態様に係るぱちんこ遊技機は、
遊技球が入球可能な始動口と、
主遊技図柄を表示可能な主遊技図柄表示部と、
第一状態、第二状態に変更可能な設定手段と、
遊技情報を記憶可能な記憶手段と、
初期化操作手段の操作に基づき記憶手段の遊技情報を初期化可能な初期化手段と
を備え、
遊技が行われていない状況で所定時間が経過した場合に遊技待機演出を行う演出制御手
段を有し、
設定手段が第一状態であり初期化操作手段が操作された状況下で電源が投入されると、
設定値を設定可能な設定値設定状態に設定し、
設定手段が第二状態であり初期化操作手段が操作された状況下で電源が投入されると、
記憶手段の遊技情報を初期化し、
設定手段が第一状態であり初期化操作手段が操作されていない状況下で電源が投入され
ると、設定値を新たに設定できないものの、設定値を所定の表示手段に表示可能な設定表
示状態に設定し、
記憶手段には、少なくともデータを退避する際に使用される退避領域と、退避領域より
も上位のアドレスの所定領域とを含み、
所定領域と退避領域との間には遊技に使用されない領域を有し、
少なくとも、主遊技図柄の変動表示を開始するタイミングで、所定領域に記憶された設
定値を示す設定値データが正常か否かを判断し、
設定値設定状態及び設定表示状態では、前記所定時間が経過した場合においても、前記
遊技待機演出を行わないよう構成されている
ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定され
ることなく実施することが可能である。

本別態様に係るぱちんこ遊技機は、
遊技球が入球可能な第一始動口（例えば、第 1 主遊技始動口 A 1 0 ）と、
遊技球が入球可能な第二始動口（例えば、第 2 主遊技始動口 B 3 0 ）と、
第一識別情報を表示可能な第一識別情報表示部（例えば、第 1 主遊技図柄表示部 A 2 1
g ）と、
第二識別情報を表示可能な第二識別情報表示部（例えば、第 2 主遊技図柄表示部 B 2 1
g ）と、
第二始動口に取り付けられた、開放状態及び閉鎖状態に変位可能な可変部材（例えば、
第 2 主遊技始動口電動役物 B 1 1 d ）であって、開放状態に変位したときには第二始動口
に遊技球が入球可能又は閉鎖状態と比較して入球容易であり、閉鎖状態に変位したとき
には第二始動口に遊技球が入球不能又は開放状態と比較して入球困難に構成されている可変
部材と、
閉状態と開状態とを採り得る大入賞口（例えば、大入賞口 C 1 0 ）と、
遊技の進行を制御する主遊技部（例えば、主制御基板 M ）と

を備え、

主遊技部は、
第一始動口への入球に基づき第一乱数を取得する第一乱数取得手段と、
第一乱数取得手段により第一乱数が取得された場合、第一識別情報の変動表示開始条件
を充足するまで当該取得された第一乱数を一時記憶して第一保留が生起するよう制御する
第一乱数一時記憶手段と、

ある第一保留に関する第一識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該
ある第一保留を消化して、当該ある第一保留に係る第一乱数に基づく当否判定結果に従い

、第一識別情報表示部にて第一識別情報を変動表示させた後に第一識別情報の停止識別情報を停止表示するよう制御する第一識別情報表示制御手段と、

第二始動口への入球に基づき第二乱数を取得する第二乱数取得手段と、

第二乱数取得手段により第二乱数が取得された場合、第二識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された第二乱数を一時記憶して第二保留が生起するよう制御する第二乱数一時記憶手段と、

ある第二保留に関する第二識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該ある第二保留を消化して、当該ある第二保留に係る第二乱数に基づく当否判定結果に従い、第二識別情報表示部にて第二識別情報を変動表示させた後に第二識別情報の停止識別情報を停止表示するよう制御する第二識別情報表示制御手段と

を有し、

第二保留が存在する場合には、第一識別情報の変動表示開始条件が充足されない一方、第一保留が存在するか否かに拘わらず、第二識別情報の変動表示開始条件が充足され得るよう構成されており、

第一識別情報表示部に停止表示された第一識別情報の停止識別情報が所定態様であった場合又は第二識別情報表示部に停止表示された第二識別情報の停止識別情報が所定態様であった場合、条件装置を作動可能な特別遊技と、

条件装置が作動する場合に作動可能で、大入賞口を連続して作動させることができる役物連続作動装置と、

可変部材の開放容易性に関する遊技状態として、通常遊技状態と通常遊技状態よりも可変部材が開放状態となり易い特定遊技状態と

を備え、

特別遊技中における役物連続作動装置の作動が終了した以降の所定タイミングにて条件装置の作動を終了させるよう構成されており、

役物連続作動装置の作動が終了してから条件装置の作動が終了するまでの期間は、特定遊技状態となり得る

ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。